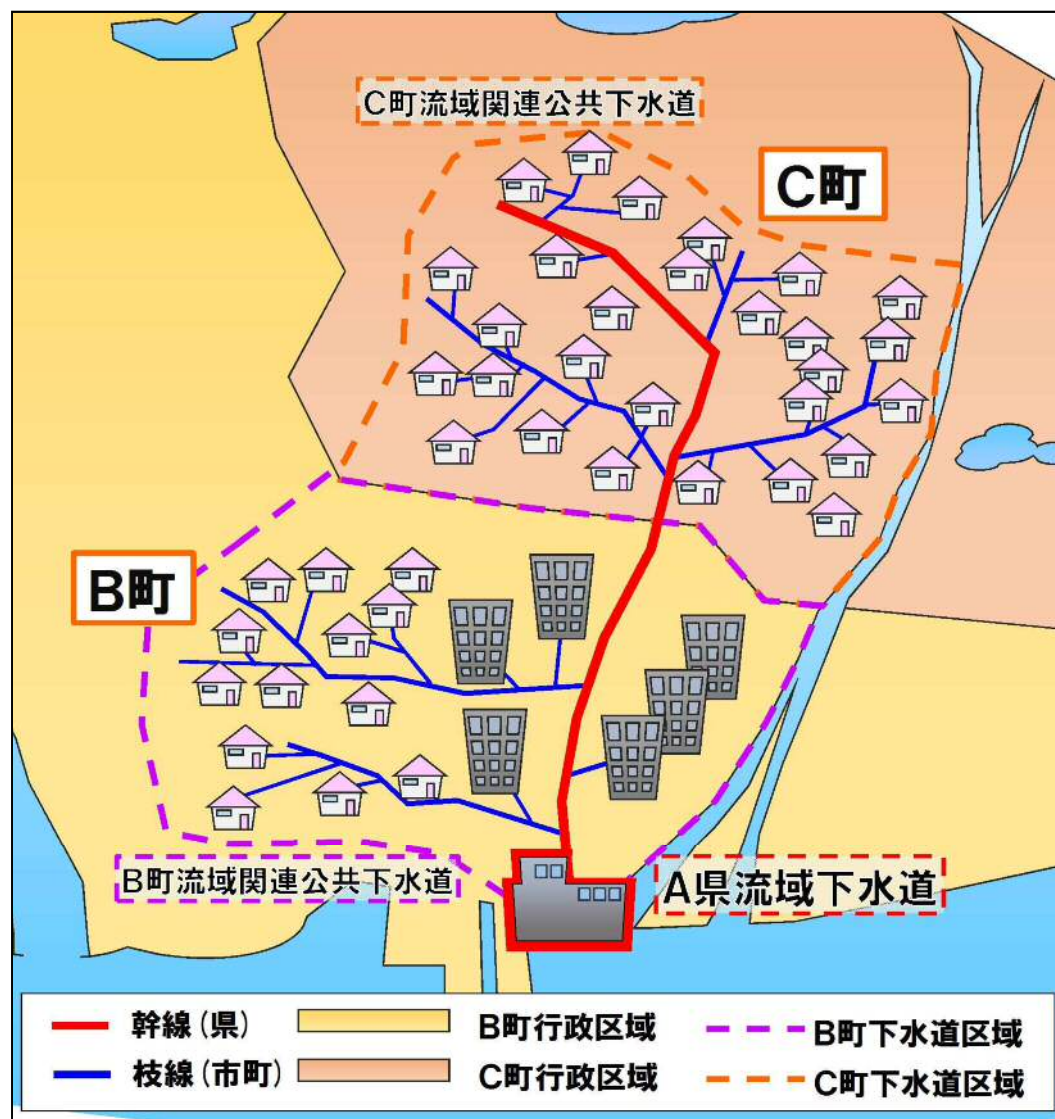


社会資本整備総合交付金事業(流域下水道事業)
中讃流域下水道(金倉川処理区)

現地調査資料

土木部 下水道課

1. 事業概要（流域下水道とは）



1) 流域下水道事業（県）

- ・流域関連市町の整備進捗に合わせ、適切な処理能力を保持するため、処理場・幹線管渠の建設、維持管理を行う。

2) 流域関連公共下水道事業（市町）

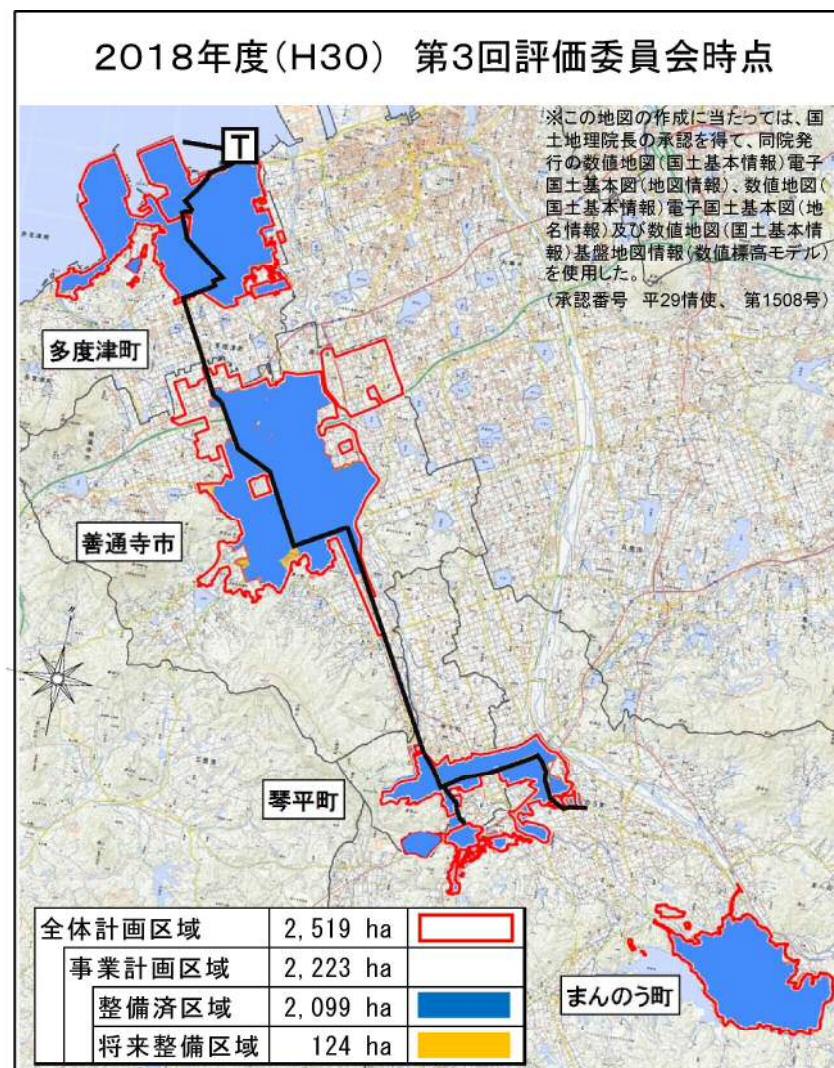
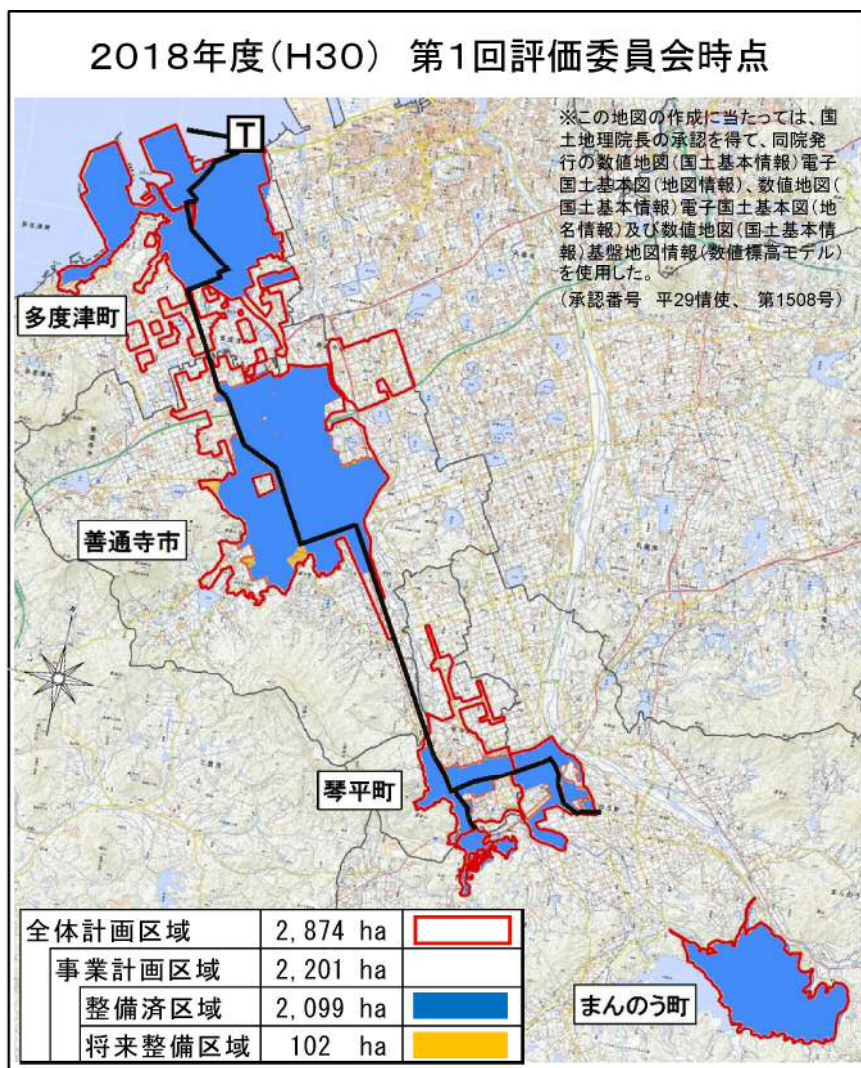
- ・枝線となる管渠を整備し、下水道区域を着実に整備し維持管理を行う。
- ・社会情勢の変化に対応し、適切に下水道区域の見直しを行う。

流域下水道事業と流域関連公共下水道事業が一体となって整備を進める必要がある。

2. 計画変更の概要 (1)

1) 計画変更の趣旨

人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、整備未着手の全体計画区域において、下水道整備の経済合理性（費用対効果）等の検証を市町において実施した結果、全体計画区域の見直し（縮小）を行ったもの。



2. 計画変更の概要（2）

2) 計画変更の経緯

項目	年月日	備考
事業計画変更（着手）	2017年 6月（H29. 6）	
第1回委員会（前回）	2018年 7月（H30. 7）	区域縮小前の計画
事業計画変更（完了）	2018年11月（H30.11）	
第3回委員会（今回）	2019年 2月（H31. 2）	区域縮小後の計画

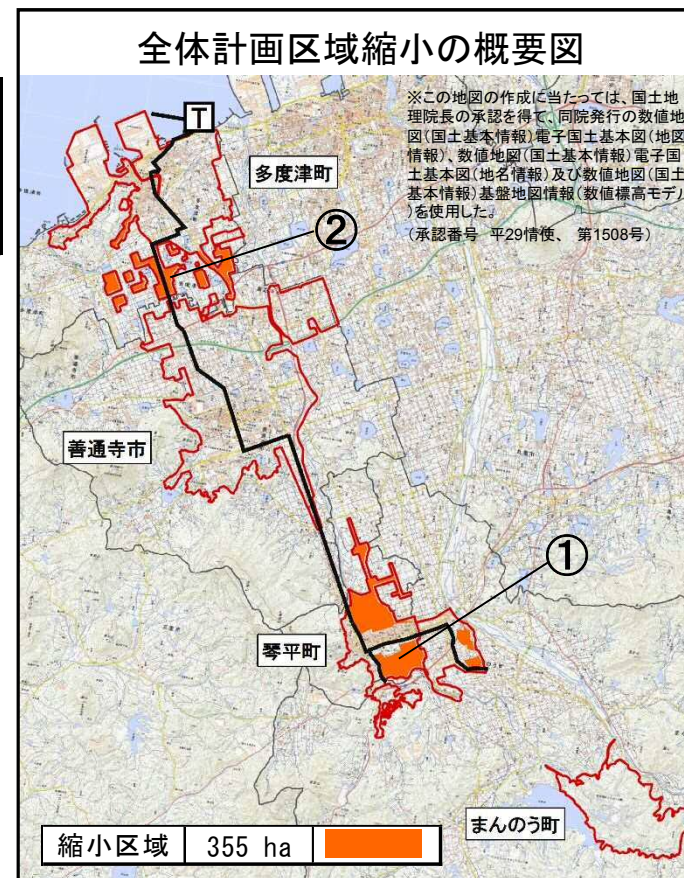
3) 計画変更の内容

項目		前回	今回	増減	
事業計画	管渠（処理区域）	ha	2,201	2,223	22
	処理場（処理能力）	m ³ /日	28,400	28,400	0
全体計画	管渠（処理区域）	ha	2,874	2,519	▲ 355
	処理場（処理能力）	m ³ /日	32,600	28,400	▲ 4,200

※ 事業計画完了年度：2024年度 全体計画完了年度：2035年度

4) 全体計画区域縮小の理由

- 人口減少に伴い、当初予想したとおりの開発が進まなかったため、下水道整備の費用対効果等を検証し区域を縮小した。（右図①, 写真①）
- 浄化槽による宅地開発が進んだため、下水道整備を実施しても、下水道への接続が見込まれないと判断し、区域を縮小した。（右図②, 写真②）

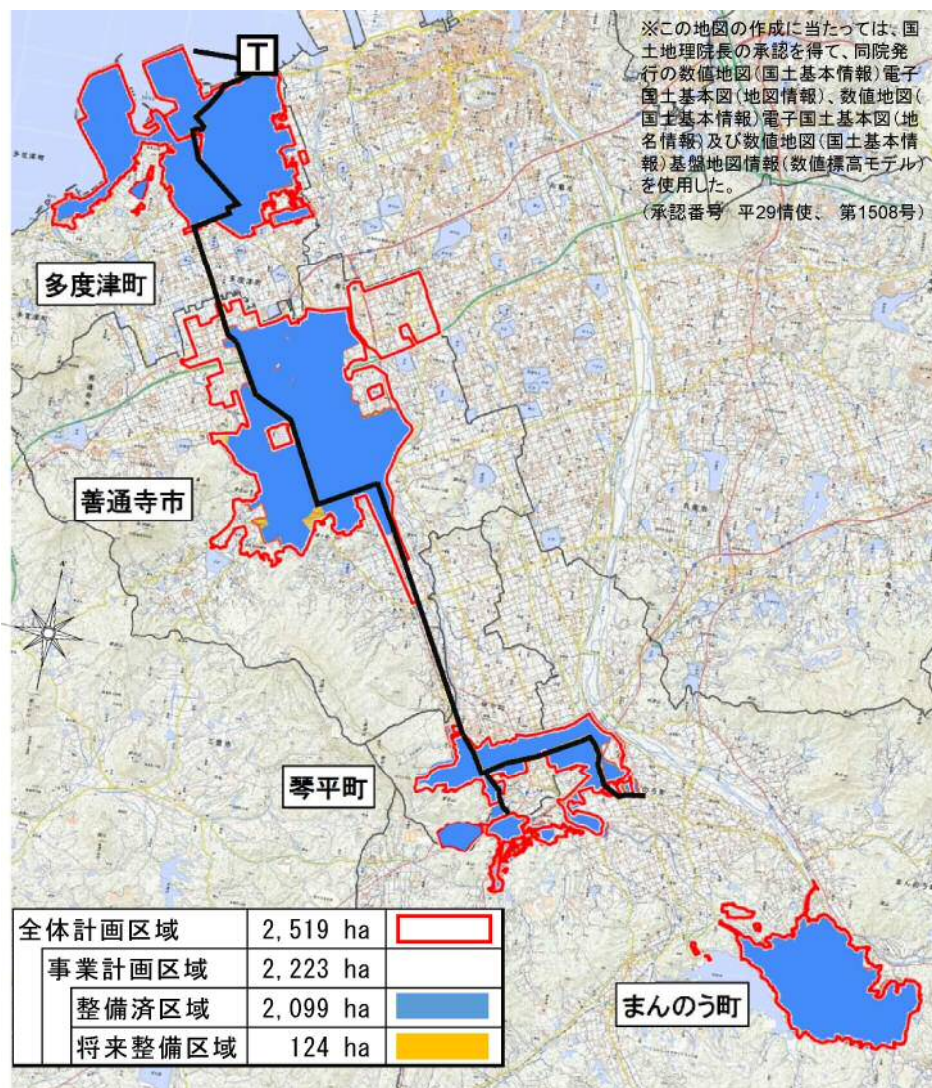


写真①



写真②

3. 事業の進捗状況（管渠整備）



① 事業着手と幹線管渠整備完了年度

事業着手	1983年度（S58）
供用開始	1990年度（H2）
管渠整備完了	1994年度（H6）

② 金倉川処理区の整備進捗率（管渠）

事業主体	事業計画区域	全体計画区域	整備面積 (2017年度末時点)	進捗率		
				事業計画	全体計画	
県事業				100%	100%	
市町事業	善通寺市	864 ha	1,148 ha	793 ha	92%	69%
	多度津町	674 ha	676 ha	622 ha	92%	92%
	琴平町	146 ha	146 ha	146 ha	100%	100%
	まんのう町	540 ha	549 ha	538 ha	100%	98%
	計	2,223 ha	2,519 ha	2,099 ha	94%	83%

※ 事業計画完了年度：2024年度 全体計画完了年度：2035年度

③ 金倉川処理区の事業費進捗率（管渠）

事業主体	事業費(管渠)			進捗率(管渠)	
	事業計画	全体計画	執行済 (2017年度末時点)	事業計画	全体計画
県事業				98%	97%
市町事業	404 億円	451 億円	387 億円	96%	86%
計	490 億円	538 億円	471 億円	96%	88%

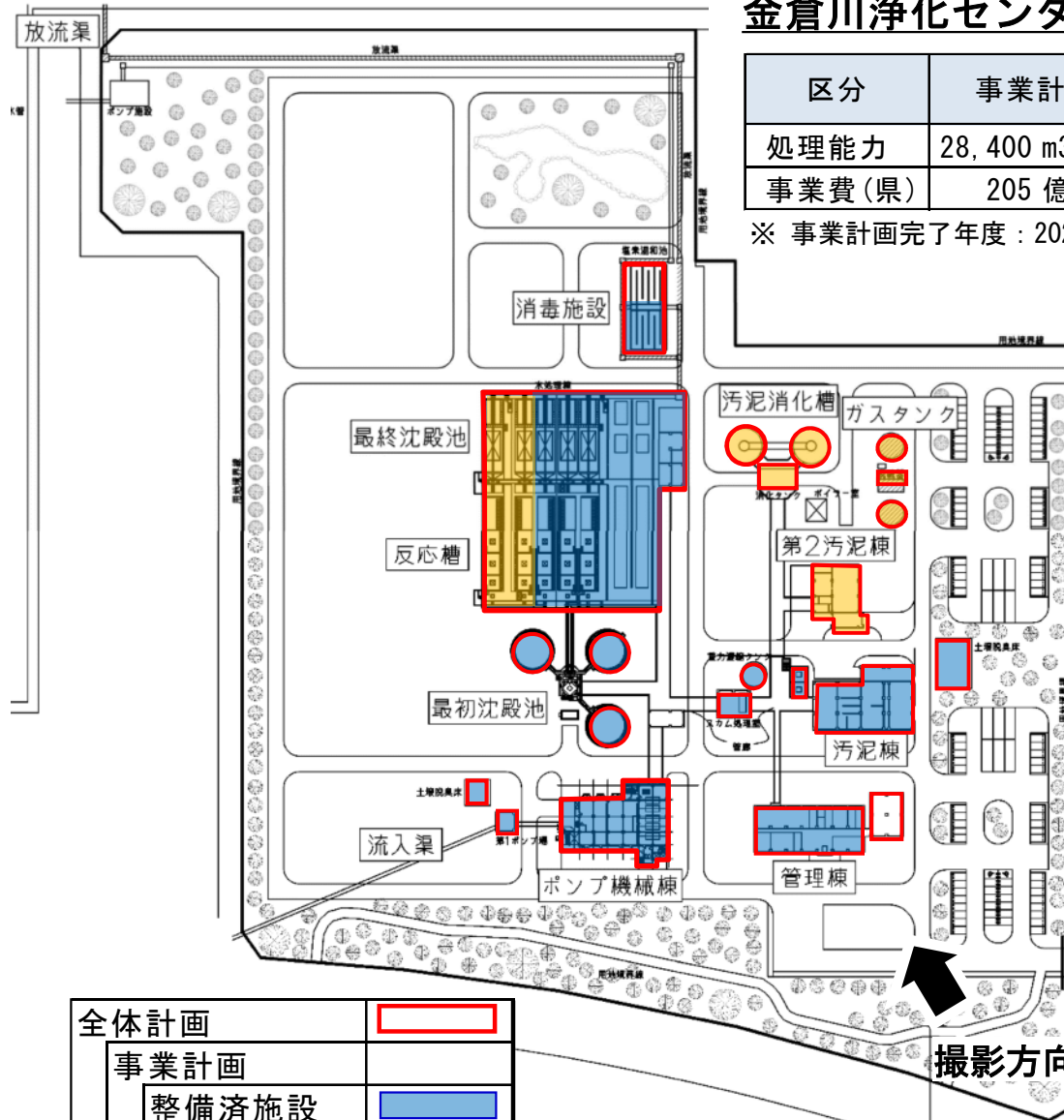
※ 事業計画完了年度：2024年度 全体計画完了年度：2035年度

3. 事業の進捗状況（処理場）

金倉川浄化センターの整備進捗率（処理場）

区分	事業計画	全体計画	整備状況	進捗率	
				事業計画	全体計画
処理能力	28,400 m ³ /日	28,400 m ³ /日	20,000 m ³ /日	70%	70%
事業費(県)	205 億円	210 億円	180 億円	88%	86%

※ 事業計画完了年度：2024年度 全体計画完了年度：2035年度



全体計画	
事業計画	
整備済施設	
将来整備施設	

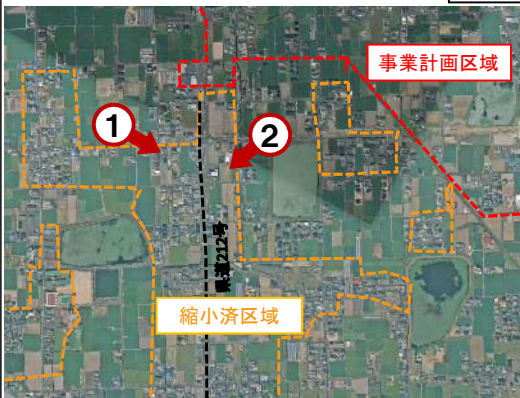
航空写真



中讃流域下水道（金倉川処理区） 現地調査資料

区域を縮小した地域

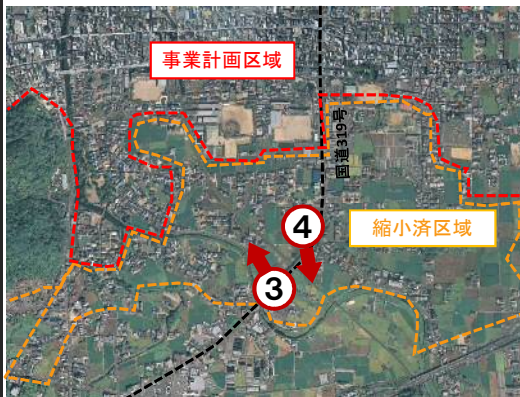
現地調査箇所



写真①

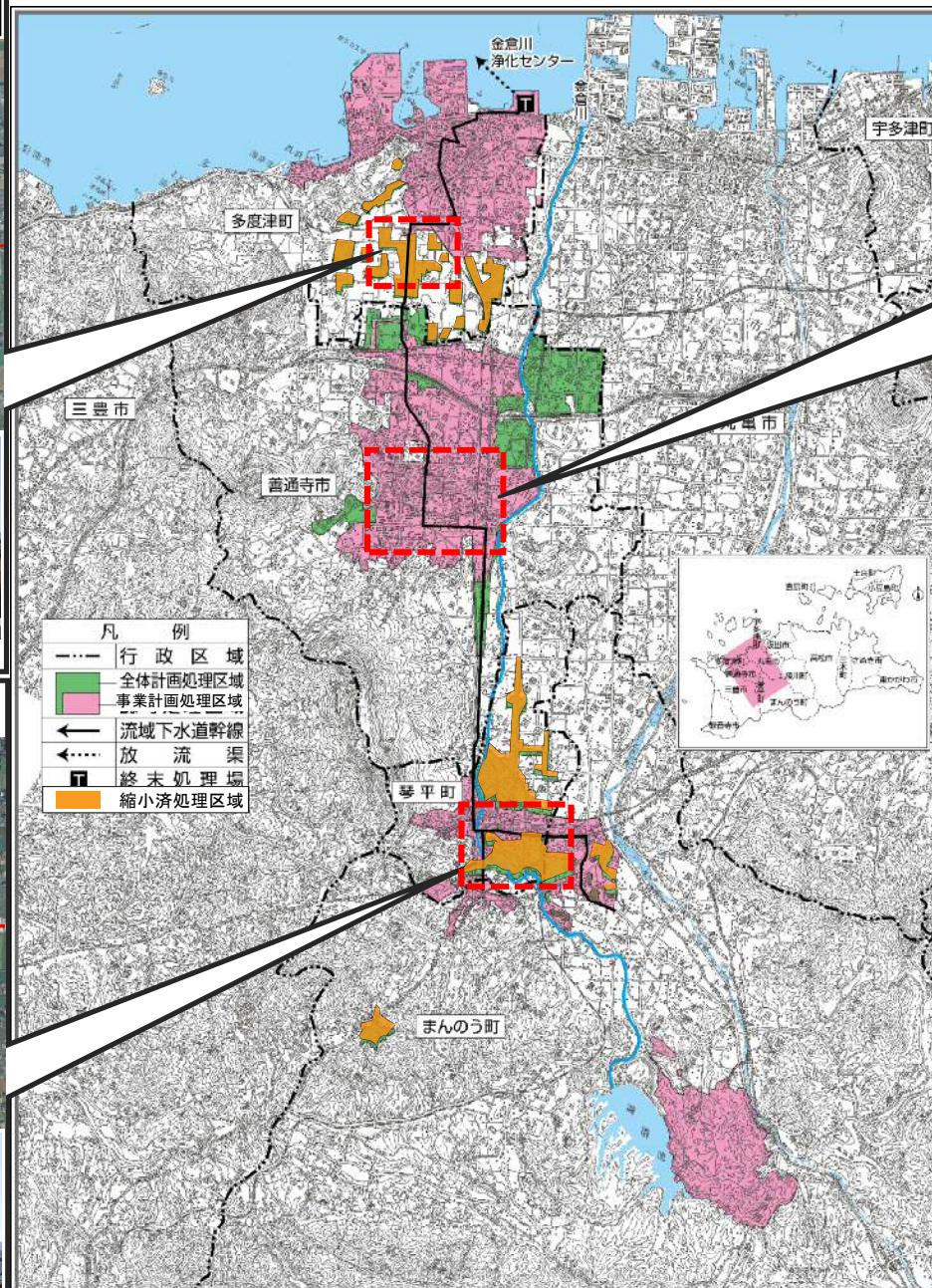
写真②

区域を縮小した地域



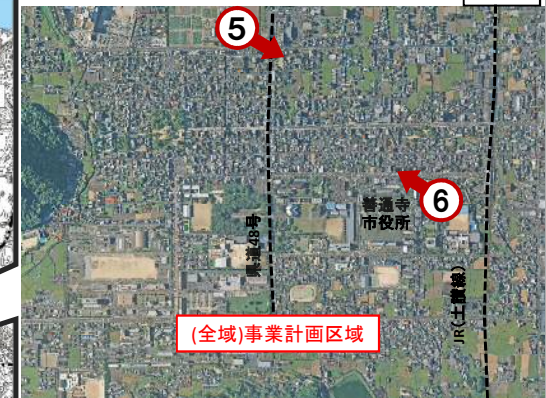
写真③

写真④



整備が完了した地域

現地調査箇所



写真⑤

写真⑥

整備が完了した地域

- ・都市化に先行し、計画的に下水道を整備した地域

区域を縮小した地域

- ・浄化槽により宅地開発された地域（接続が見込まれない地域）
- ・宅地化が進まない区域
⇒費用対効果の低下

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。
(承認番号 平29情使、第1508号)